

認知症に関する活動計画（概要）

【渉外部】

- 地域支援事業における対県、対市町村・対他団体（主にリハ専門職協会を想定）との交渉・連絡および人材の選出と派遣・推薦（下記に認知症関連を抜粋）
- 「認知症初期集中支援チームの参加者」「認知症初期集中支援チームの会議傍聴席」

【事業部】

- 認知症カフェの運営

【教育部】

- 地域支援事業に資する人材育成研修会（地域ケア会議編、介護予防日常生活総合支援事業編、認知症の人の生活支援編）の開催（1回）

【部局連携室】

- 地域ケア会議・介護予防日常生活支援総合事業・認知症関連事業等の参画のための連携・調整・運営・後方支援など

世界アルツハイマー・デーでのイベント企画

【大河原町】

- アルツハイマーデーに先立ち9月13日に町主催で認知症セミナーを開催。本セミナー前に「認知症カフェ」を開催予定（当士会OTが参画予定）

認知症初期集中支援事業への参画

【仙台市】

- 市からの依頼を受け、2018年から参画継続中。チームは診療所委託と、他5チームは市直営となっており、当士会より4名のOTが配属。
- 2024年度に引き続き、各区（5区）が主導的に活動を運営し「可能な限り在宅生活を継続できるような体制の構築」に向けた取り組みを展開中。
- チーム員の活動は、主に各区内の全地域包括支援センターも交えた認知症初期集中支援チーム員会議と事例訪問。
- 地域包括支援センターからの依頼に応じ、地域住民を対象とした認知症講座で講師を担う機会が増加中。

【多賀城市】

- 認知症初期集中支援員会議を、仙塩総合病院が委託し、2ヶ月に一度、Dr・Ns・OTで会議を開催中。
- 過去には地域包括支援センターと共同で認知症カフェも開催。

【大河原町】

- 町直営の地域包括支援センターから依頼を受け、包括職員とOTとの2名体制で対象者宅への訪問を行い、アセスメント後に、情報を整理してチーム員会議を実施。
- 「認知症カフェ」の参加者やそのご家族が初期集中支援に繋がることもあり。

認知症カフェ事業への参画

【仙台市】

- 2016年以降、みやぎ生協太子堂店集会所にて毎月1回開催している認知症カフェに参画中。
- 2019年度以降、当士会事業部と仙台市薬剤師会共催という形で運営中。
- 2024年度以降、仙台市認知症初期集中支援チームの看護師も活動メンバーに加わり、認知症の理解や地域住民同士の交流促進に向けた取り組みを展開中。
- 参加者は、近隣住民の方々や町内会長さんなど毎月10名前後が主。
- 活動内容は住民同士のコミュニケーション促進に重きを置きながら毎月テーマを決めて実施中（これまでに手作業・ミニ講話・軽体操・フラダンス・ゲームなどを実施）。
- 市から依頼を受け、仙台市認知症カフェ支援事業の一環として開催されている「認知症カフェネットワークミーティング」に企画・運営メンバーとして参加。市内の認知症カフェ運営者と認知症カフェの現状についての情報交換や、今後継続・普及させていくための方策についての意見交換を実施中。
- 認知症カフェのつながりで近隣の地域包括支援センターから依頼をいただき、当該包括主催の「地域ケア会議」に参加。当該包括圏域の町内会長さんや企業、介護・福祉関連機関が集い、情報交換やワークショップ（災害発生時の逃げ地図作りなど）を実施。

【大河原町】

- 町直営の地域包括支援センターが開催している認知症カフェに週3回（月・木・土）参画中。参加者は5～20名程度。
- 当該包括の専門職のほか、栄養士、薬剤師、福祉ネイリスト、はつらつメイト（介護予防サポーター）、その他ボランティアと共同して活動中。
- 内容は手工芸、ミニ講話、軽体操、音楽会、料理、レクリエーション、バス旅行など、参加者の要望を取り入れたり、時には参加者が講師を務めるなど、自由な雰囲気の中で、参加いただいた方々に応じて柔軟に開催中。
- 当該包括からの依頼や参加者からの希望に応じ、MMSE等の評価を実施。場合によっては関係機関との連携を図ったり、初期集中支援チームに繋げる等の対応。

認知症に関するワーキンググループへの参画

【仙台市】

- 5つのワーキングのうち、「認知症バリア解消に向けたワーキング」「生活の工夫講座ワーキング」にOTが参画中。